

日本語教育 2014 年前半年活動檔案

- 2014 年 7 月日語能力測試報名的通知
- 2014 年度第 1 回日本語教育シリーズ講座の開催
- 2014 年春季全國中等教育教師研修會の実施報告
- 有關申請【2014 年地域巡回教師研修】的通知
- 關於舉辦"第九屆全國大學日語教師研修班"的通知
- 2014 年度第 2 回日本語教育シリーズ講座の開催

2014年7月日语能力测试报名的通知

2014年7月6日日本语能力测试网上报名将于2014年3月10日开始。有关报名、考试的相关规定和报名步骤，请仔细阅读报名网站的《考生须知》和《报名步骤》。

重要提示：中国大陆考生参加考试必须携带的唯一身份证件是有效的“中华人民共和国居民身份证”原件。根据《中华人民共和国居民身份证法》，任何居民无论是何年龄，均可向户籍所在派出所申领身份证。特别提醒未申领身份证或身份证已过期的青少年考生提前办理，以免影响考试。

网上报名分两个阶段进行。第一阶段考生仅进行个人信息注册和上传电子照片；第二阶段除考生可继续注册外，按N1、N2、N3~N5的顺序依次分别开放考试名额供已完成个人信息注册与上传电子照片的考生选择级别和考点，此阶段要求考生完成预定考位和支付考费等全部报名手续。

网上报名开通时间的具体安排如下

报名步骤		日期及时间	
		开通日期	截止日期
报名	注册	3月10日 14:00	4月6日 14:00
	N1	3月17日 14:00	
	N2	3月19日 14:00	
	N3~N5	3月21日 14:00	
打印准考证		报名结束后，报名网站《重要通知》中将公布下载打印准考证日期	7月6日
考试		7月6日 13:00入场	
领取成绩单		考试结束后3个月左右到达考点	

报名网站网址为 <http://www.etest.edu.cn>（教育网）或<http://www.etest.net.cn>（公网）。

2014年度第1回日本語教育シリーズ講座の開催

国際交流基金北京日本文化センター・中国日語教学研究会上海分会共催
日本語教育学シリーズ講座2014 第一回講座

2014年4月13日（日）午後14:00～16:30

会場 同済大学（上海）

早稲田大学大学院日本語教育研究科教授 館岡洋子先生 ご講演

「教授法から学習環境のデザインへ」

早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士（学術）。アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、東海大学留学生教育センター助教授、同教授を経て2007年4月より現職。研究テーマは、学習環境デザイン、協働的学習、実践研究。「協働実践研究会」（<http://kyodo-jissen-kenkyukai.com/>）を通じて、国の枠を超えて、日本語教育におけるピア・ラーニング実践研究のさらなる開発・発展のためのプラットフォームづくりを目指している。主な著書に『ひとりで読むことからピア・リーディングへ——日本語学習者の読解過程と対話的協働学習』（2005）、『ピア・ラーニング入門——創造的な学びのデザインのために』（共著、2007）、『読解教材を作る（日本語教育叢書「つくる」）』（共著、2012）など。

中国では2014年4月、北京日本学術研究センターにおいて大学院生の指導に当たる。また、2014年4月高等教育出版社から出版の「日語教育基础理论与实践系列丛书」『協働学習理論と実践』の主編と執筆。

講師からのメッセージ

学習は学習者が自ら取り組む主体的な活動であるとする、教師は「教授する人」というよりは「学習環境を創る人」ということになると思います。

本講演は「学習環境のデザイン」という視点から、「ピア・ラーニング（協働学習）」をとらえます。

「ピア・ラーニング」は今や日本語教育の世界では珍しくなくなってきました。日本では、多くの日本語クラスで協働の形態で授業が展開しています。では、なぜ協働するのでしょうか。

今や社会はグローバル化し、大学教育においてもグローバル社会で活躍できる人材を育てることが急務となっています。グローバル化の今後に向けて、日本語教育においては何ができるのか。協働による学びにその可能性があるのではないかと感じています。

ピア・ラーニングにおける学習環境のデザインとはどういうことなのか、今まで実施してきたグループ活動とピア・ラーニングは何が違うのか、教師はどのような役割を果たすのか、事例をもとにみなさんと検討したいと思います。

時間： 2014年4月13日（日）午後14:00～16:30

講師： 早稲田大学大学院日本語教育研究科教授 館岡洋子先生

場所： 同済大学 匯文楼 418室

上海市四平路1239号

交通 地下鉄 10号線（同済大学駅）

バス 55番線、61番線、115番線、142番線、147番線、307番線、310番線、325番線、817番線、874番線、937番線、960番線（同済大学）



参加費： 無料

使用言語： 日本語

申込方法： 来場ご希望の方は、氏名・所属先・携帯電話番号を明記の上、4月10日(木)までにメールでお申し込みください。メールの件名は「4月13日講座」をお願い致します。会場の都合上、定員に達した場合お断りすることもあります。

宛先： 中国日語教学研究会上海分会 ryjxyj_sh@126.com 件名：4月13日講座

テーマ：読解能力を育てる

日程： 2014年3月15日～3月18日
会場： 武漢実験外国語学校（湖北省武漢市）
主催： 国際交流基金北京日本文化センター
人民教育出版社課程教材研究所

テーマ： 読解能力を育てる

内容： 「読解能力を育てる」をテーマに、授業見学を中心に研修を行いました。「読む」とはということか、講義や授業見学などを通して、あらためて振り返り、読解能力を育てるにはどのような指導が必要かを考えました。

参加者： 49名（41機関）



武漢実験外国語学校

テーマ：読解能力を育てる

(1) テーマに関する講義

- ①「談談中学日語閲読教学」 唐磊先生（人民教育出版社課程教材研究所）
- ②「読むことを教える」 柳坪専門家（国際交流基金北京日本文化センター）

人民教育出版社課程教材研究所の唐磊先生から、中国の中学・高校のシラバスである「課程標準」で求められている「読解」の目標と、それが教材「日語」（人民教育出版社）にどう現れているかをお話いただきました。また、参加者が実際に抱えている読解授業の課題を全体で共有し、教師はそれをどう解決すべきかにも考えました。

北京日本文化センターの柳坪専門家は、「読むこと」の本質を振り返った後、読解能力を育てるためのストラテジー、読解授業の流れについて講義をした後、実際に読解素材を読み、「深い読み」につなげるにはどうしたらよいか参加者とともに考えました。



(2) 日本語授業体験

- ①ピア・リーディング 清水昭子先生（人民教育出版社/JICAシニアボランティア）
- ②読解ストラテジーを意識した授業 鈴木専門家（国際交流基金北京日本文化センター）

「日本語授業体験」は、研修参加者が学生の立場に立って日本語授業を受ける体験型活動です。日本語力の向上と教授法の体験・観察を目的としています。



日本語授業体験①



日本語授業体験②

(3) 教案作成

授業見学在先立ち、見学時に担当教師が授業を行う課の教案（1時限分）をグループで作成しました。前日の講義や、日本語授業体験で学んだことを意識し、前作業、本作業、後作業に分けて授業デザインを考えました。

(4) 授業見学

中学授業見学班と高校授業見学班に分かれ、中学は武漢実験外国語学校の劉青先生と周亜静先生の授業を見学し、高校は武漢外国語学校の鄧衍捐先生の授業を見学しました。授業見学後の意見交換会では、授業担当教師と参加者で質問や意見など、活発なやりとりが交わされました。



劉青先生授業見学



周亜静先生授業見学



鄧衍捐先生授業見学

(5) 授業検討会（ワークショップ）

授業検討会は、中学見学班・高校見学班の2つに分かれ、ワークショップ形式で行いました。まず、授業見学全体を振り返った後、研修会のテーマである「読解」に焦点をあて、自分の問題にひきつけて検討しました。



授業検討会 ワークショップ



授業検討会 ポスター発表

交流会（課題解決ワークショップ）

事前課題で、教師としての課題を書いて提出してもらい、その中から「指導法」、「授業の効率化」、「日本文化・異文化理解」、「学習意欲」、の4つを交流会のテーマとして選びました。小グループに分かれ、解決方法を考えてポスターにまとめて発表し、討論しました。最後にポスターを壁に掲示し、みんなでギャラリーウォークをして共有しました。



ポスター作成



ポスター発表

武漢実験外国語学校生徒による「ソーラン節」

武漢実験外国語学校の生徒さんたちが、この日のために練習した「ソーラン節」を披露してくれました。特注したというハッピーがかってよかったです。このあと、参加者も一緒に踊りました。



『艾琳学日语』ワークショップ

北京日本文化センターの松浦専門家が『艾琳学日语 エリンが挑戦！にほんごできます。』（北京日本文化センター編 人民教育出版社）を使って、中学2年生の生徒に模擬授業を行いました。授業の後、参加者の皆さんにも実際の授業でどう使うか考えて発表してもらいました。



講義、授業体験、教案作成、授業見学、授業検討会と、内容が盛りだくさんの研修でしたが、生徒の読解能力をどう伸ばすか、真剣に考える4日間になりました。また、様々なワークショップに参加して、教師同士の交流も活発に行われ、教師のネットワークを作ることもできたようです。

今回の研修では、「研修ポートフォリオ」も導入しました。参加者は毎日じっくり振り返りをするとともに、教師としての自分を見つめ直し、今後の課題についても考えました。

参加者の皆さんがこの研修で得たものをそれぞれの現場で実践することを期待しています。

アンケート記述から

- ・読解の授業についての新しいやり方で授業を進めるのはとても印象深いです。これからの授業の中で実行したいと思います。(多数)
- ・ピアリーディングが印象的だった。(多数)
- ・ワークショップの活動はとてもいいと思います。(多数)
- ・授業見学がとてもよかったです。(多数)
- ・課題を提出し、観察し実際に体験し、自分で授業プロジェクトを書き、そして自分のクラスで実践する。こういう流れがとてもいいと思う。それにディスカッションやグループ協力により問題を解決するという形は、授業の中ででてくる問題を解決するうえで役立つと思う。
- ・ポートフォリオは大変有効だった。
- ・今回の研修会を通して、多くの日本語の先生と交流できて、授業について勉強になった。(多数)

2014年春季全国中等教育教師研修会

日程 2014年3月15日～18日

会場：武漢実験外国語学校

		内 容		担 当
3/15 (土)	14:30-15:00	受 付		
	15:00-15:30	開会式・写真撮影		李家祥
	15:40-16:20	「読解」に関する講義①		唐磊
	16:40-17:20	「読解」に関する講義②		柳坪
	17:20-17:50	ポートフォリオ説明・記入		鈴木
	夜	懇親会		
3/16 (日)	9:00-10:20	日本語体験授業①	日本語体験授業②	清水・鈴木
	10:40-12:00	日本語体験授業①	日本語体験授業②	清水・鈴木
	12:00-	昼 食		
	14:00-16:00	班活動 ・事前課題振り返り ・教案作成(小組)		A班：鈴木 B班：張敏・清水 C班：李家祥・張金龍 D班：柳坪
	16:20-16:50	授業見学オリエンテーション		鈴木
	16:50-17:10	ふりかえり ポートフォリオ記入		鈴木
3/17 (月)	午 前	授業見学(初中) 9:15--10:00 刘青老师 初一 10:30--11:15 周亚静老师 初二 11:30-12:10(40分) 意見交換会	授業見学(高中) →高校へ移動 9:20—11:05 鄧衍捐老师 高二 意見交 換会(30分) →中学へ移動	中学：鈴木 高校：李家祥
		12:30-	昼 食	

	14:00-16:00	授業検討会 ワークショップ (中学／高校)	中学: 鈴木 高校: 柳坪
	16:00-16:30	全体共有	
	16:30-16:50	ふりかえり ポートフォリオ記入	鈴木
	17:30-	夕食	
	18:00-20:00	映画鑑賞会「しあわせのパン」〈中文字幕付〉 ※自由参加	守屋
3/18 (火)	9:00-11:00	交流会 (課題解決ワークショップ)	李家祥・鈴木
	11:00-11:30	武漢実験外国語学校生徒による「ソーラン節」	宮崎 (JICA)
	11:45-	昼食	
	13:30-14:00	艾琳学日语 紹介	柳坪
	14:00-14:45	艾琳学日语 模擬授業 (初二)	松浦
	14:45-15:30	艾琳学日语 ワークショップ	松浦
	15:30-16:30	全体振り返り ポートフォリオ記入	李家祥・鈴木
	16:30-17:00	修了式 全体総括	李家祥 唐磊

有关申请【2014年地域巡回教师研修】的通知

北京日本文化中心（日本国际交流基金会）的日语教育专家们将亲临各地域、地方，深入到学校出讲在当地举办的日语教师研修会。希望邀请专家到会进行讲座的主办校请参考下列申请条件：

- 1, 以各地方的学校为主办校，结合周边或一个地区、地域的3所以上的学校联合举办研修会，参加教师30人以上。
- 2, 主办校要有初步的会议内容安排（如：日程、研修内容、会议形式等）。
- 3, 会议地点、场所、各项安排、用餐、事务运营、各项费用开支、管理、联络等都由主办校进行协调安排。
- 4, 专家根据研修内容安排外出讲座，研修会运营费用等主办校可收取会务费，出讲专家的往返交通费及住宿费用由本中心自理。
- 5, 讲座内容范围：
 - ① 中、上级教学法（包括很快能运用到课堂中的多技能整合型教案的使用）
 - ② 初级教学法
 - ③ 各种教学法（阅读、听力、作文、会话）
- 6, 专家出讲时期为2014年9月~11月期间，有意向申请的学校请在**6月30日（周一）前将申请表发送**

至 nihongo@jpfbj.cn 或电话咨询**010-8567-9511** 申请数量较多时，会优先选择之前未举办过的地域。结果会在7月份以后依次通知。

例：会议日程安排

時間		内容
○月○日 土曜	午前	9:00-11:30 2時間半 教師向け「中上級の教え方」1
		昼休み
	午後	13:30-16:00 2時間半 教師向け「中上級の教え方」2
		散会

关于举办“第九届全国大学日语教师研修班”的通知

关于举办“第九届全国大学日语教师研修班”的通知(PDF)

请点击下载回执表(Word)

2014年度第2回日本語教育シリーズ講座の開催

国際交流基金北京日本文化センター
日本語教育学シリーズ講座2014 第二回講座

2014年6月15日（日）午後14:00～15:30

会場 国際交流基金北京日本文化センター

東京学芸大学教授 谷部弘子先生 ご講演

日本語学習者の自然談話にみる「話す」「聞く」能力

時間：2014年6月15日（日）午後14:00～15:30

講師：東京学芸大学留学生センター教授 谷部弘子先生

場所：国際交流基金北京日本文化センター ホール

参加費：無料

使用言語：日本語

定員：30名

講師からのメッセージ：

留学生を送る側、受け入れる側双方の日本語教員としての立場から、日本での母語話者との会話（接触場面）、学習者同士の会話（学習者場面）を素材に、中国を含む外国人留学生の「話す」「聞く」能力について考えてみたいと思います。

講師プロフィール：

谷部弘子先生は筑波大学大学院地域研究研究科を修了されて後、国際交流基金日本語国際センター日本語教育専門員等を経て、現在は東京学芸大学留学生センターにて指導と研究に携わっていらっしゃいます。中国では北京師範大学日本語教育研究所顧問を務めるとともに、2014年2月より、北京師範大学客員教授（～同年7月）として指導に当たられています。主な論文・ご著書に『日本語教育を学ぶーその歴史から現場までー』（三修社、共著）、「中国語母語話者の日本語語彙理解に必要な認知的要素ー語彙能力認知診断テスト開発のための予備調査の結果からー」等。専門は日本語学・日本語教育。

申込方法：

参加ご希望の方は、氏名・所属先・携帯電話番号を明記の上、[6月11日\(水\)までにメールでお申し込みください](mailto:nihongo@jpfbj.cn)。メールの件名は「6月15日講座」でお願い致します。会場の都合上、定員（30名）に達した場合お断りすることもあります。

宛先：国際交流基金北京日本文化センター nihongo@jpfbj.cn 件名：6月15日講座